

経営理念

私たちは、
独創的で、精度良く、頑丈で、故障しない機械、
自動化システム、デジタル技術を、
最善のサービスとコストで
お客様に供給することを通して、
ターニングセンタ、マシニングセンタ、複合加工機、
グライディングセンタ、アディティブ・マニファクチャリング、
加工オートメーションで、
グローバルワンを目指す

私たちは、
最新、最高の開発技術、
正確、緻密な生産技術、
的確、迅速な、販売・サービスで、
全世界のお客様の生産性と効率性の向上の為に
不断の努力を行う

私たちは、
よく遊び、よく学び、よく働き、
お互いの意見を尊重し、日々の改善改良を行い、
切磋琢磨して共に成長する

私たちは、
グローバルに展開する企業として、公正でオープンな
企業文化を育み、世界最適経営を実践する

私たちは、
パートナーと共に繁栄する

私たちは、
工作機械産業を理解する株主の為に
企業価値を高め、
株主利益の拡大を図る

私たちは、
私たちの提供する商品、
サービスの価格設定が
企業の繁栄、
永続の為に非常に重要であると考えている

私たちは、
将来の研究開発のため、
安定したお客様サービスのため、
継続的な社員教育のため、
環境良く効率的な工場、安全な労働環境を維持するために
必要なキャッシュフローを得る為に、
適切な利潤を得る

私たちは、
責任ある企業市民として地域、社会に貢献する

私たちは、
環境資源を大切に地球環境を守る

私たちは、
高い倫理観を持って、社会良識に準拠した企業活動を行う

2050年の
ミッション

全世界で稼働している工作機械

2024年
約500万台 ▶ 2050年
約100万台

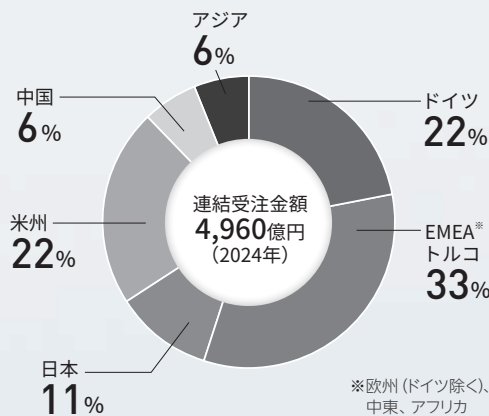


工程集約→自動化→GX
by DX

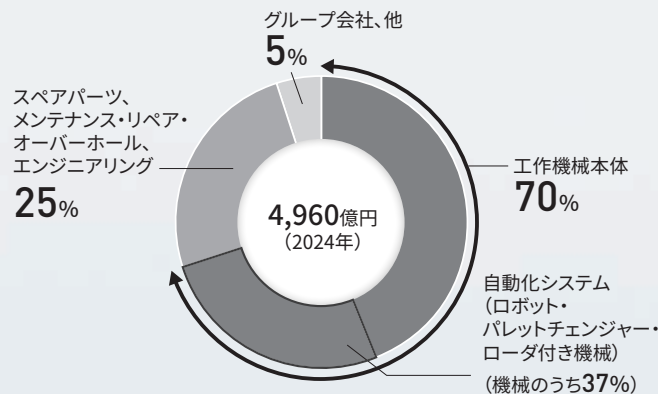
- お客様のオペレーター不足改善
- お客様の高精度加工実現、生産効率改善
- お客様の環境負荷低減

ひと目でわかるDMG MORI

■ 地域別受注構成



■ カテゴリー別受注構成



■ 主要財務指標

(単位:億円)	FY2023	FY2024	FY2030目標
連結受注額	5,200	4,960	8,000
機械受注残高(期末)	2,470	2,180	
売上収益	5,395	5,409	8,000
営業利益	554	437	1,200
営業利益率	10.3%	8.1%	15.0%
継続事業からの当期利益	354	231	
当期利益	339	77	800
EPS (円)	256.66	43.60	563
1株当たり配当金(円)	90	100	200
株主資本比率	35.0%	39.4%	50%
Net Debt (ハイブリッド資本を含む純有利子負債)	1,795	1,728	1,000
Net D/E レシオ	0.26	0.20	<0.3
営業フリーキャッシュフロー	149	64	

■ 人的資本指標

連結従業員数※1	約13,500名
従業員の国籍	61
取締役	
女性取締役比率	25%
外国人取締役比率	25%

※1 パートタイマー、アルバイト、労働契約の従業員を除く

■ グローバル・プレゼンス

生産拠点	17拠点
販売・サービス拠点	124拠点
エリア・セールスマネージャー	約600名
テストカット機	約450台

社会的ニーズの変遷とDMG MORIの発展

社会
ニーズ

- 社会インフラ整備
- 高度成長・工業化進展
(大量生産・大量消費社会への対応)

- グローバル生産展開
- 省エネ省資源対応
(軽量化・小型化製品)

- 少子高齢化
- 技術者・オペレーター
不足への対応
- IT (情報技術)対応

DMG MORI
の対応

- 大量生産を可能にする工作機械を提供
- 数値制御装置付旋盤の製造・販売開始

- 海外展開
- 複雑な部品加工を可能にする
工作機械を提供

- 高精度・高速・高剛性な
工作機械を提供
- 対話型操作システムの提供

1958年

高速精密旋盤の
製造・販売開始

1948年

創業
大和郡山市において
繊維機械の製造・販売開始

1983年

MORI SEIKI U.S.A., INC. (米国)設立

1982年

MORI SEIKI GmbH (ドイツ)設立

1979年

大阪証券取引所
2部に上場

1981年

東京証券取引所
2部に上場

1987年

奈良本社事務所完成
奈良第1工場稼働開始

2009年

独ギルデマイスター社
(DMG)との
資本業務提携開始

1970年

伊賀事業所建設、
操業開始

1983年

東京・大阪両証券取引所
1部に昇格

1992年

伊賀事業所拡張、
伊賀第2工場稼働開始

売上高



平均単価 / 台

1,000万円

2,000万円

DMG MORI
製品の変遷

普通旋盤

1960s

1970s

CMX 800 V

立形マシニングセンタ

1980s

NTX 500

複合加工機

1990s

2000s

ターニングセンタ

ALX 1500

NHX 4000

横形マシニングセンタ

1960s-70s

1980s-90s

2000s

DMG MORIビンテージ機
全世界稼働台数

1980年代以前の納入機

約**5.7**万台が稼働

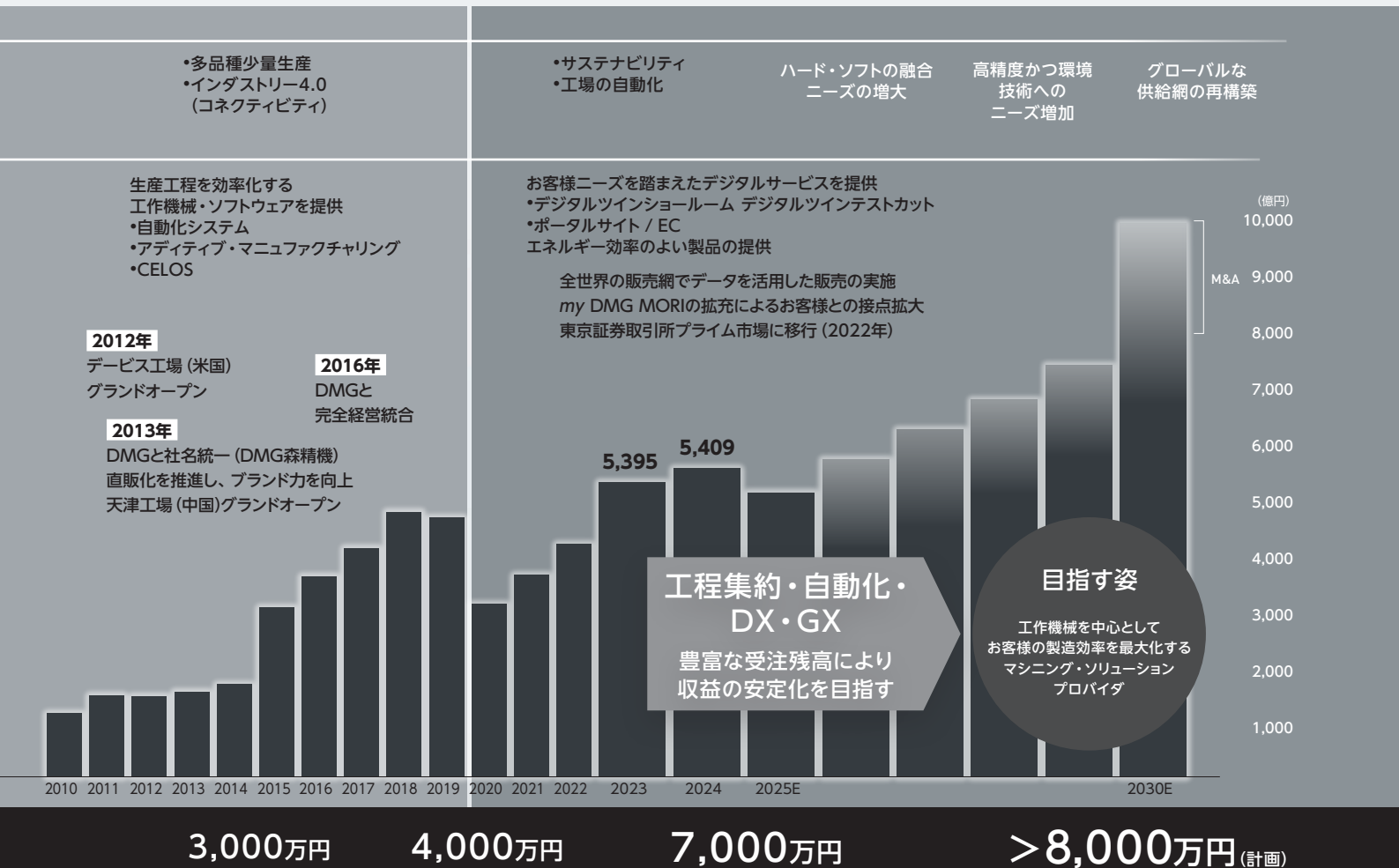
1990年代

約**4.5**万台が稼働

2000年代

約**8.6**万台が稼働

DMG MORIは、約10年ごとに起こる社会的ニーズの大きな変化に応じて、
ビジネスモデルを発展させ、提供する製品・サービスを進化させて成長してきました。
これからは社会のニーズに的確に対応した価値提供を通じて、さらなる成長を目指しています。



2010年代
約8万台が稼働

2020年代
約3.2万台が稼働

DMG機
全世界稼働台数
累計
約30万台

DMG MORIのミッション実現のための マシニング・トランスフォーメーション (MX)の深化

DMG MORIのミッション

現在

工作機械市場



工程集約	全世界約500万台（うち、DMG MORI機約30万台）
自動化	1,500 h / 年・台
GX	工場面積および消費電力 1
DX	オペレーター500万人

MACHINING

工程集約



複数台で分割していたターニング
及びミーリング加工のほか、
専用機によるギヤ加工や
完成ワークの計測などを1台に集約

自動化



MXで実現する経営戦略

TULIP



機種選定

加工検討

人材育成

機械据付・立上

生産計画

プログラミング

by DX

工作機械は購入されると、20年以上使用されるお客様も多くいます。
 技術革新を通じて複数の古い機械を最新の1台に置き換えるだけでなく、
 機械稼働を最大化するためのあらゆる提案がDMG MORIの目指すビジネスです。
 MXの推進によって2050年代の金属加工業は大きく様変わりしているとDMG MORIは考えています。

2050年代 | 工程集約機の付加価値を最大化する包括的ソリューション



全世界約100万台 (うち、DMG MORI機約20~25万台)

3,000 h / 年・台

工場面積および消費電力 1/5

プログラマー100万人

2050年

- ・高精度加工
- ・オペレーター不足の改善
- ・経営資源の最適化
- ・SBT認定「ネットゼロ目標」達成

TRANSFORMATION

手間のかかる段取り替え作業からオペレーターを解放し、夜間や休日シフトを活用した機械の稼働時間の長期化を実現

GX GREEN TRANSFORMATION



設備面積の縮小と中間在庫(仕掛品)の削減、加工不良品の低減を通じた、経営資源と消費エネルギーの有効活用

サービス

計測

モニタリング

加工

段取り

DIGITAL TRANSFORMATION

myDMG MORI



成長産業でのDMG MORIが 生み出す付加価値

工作機械は、さまざまな原材料に複雑に加工を行うことで、価値の高い部品を生み出します。多くの場合、仕上がった部品は消費財ではないため一般の方々の目に触れることはありませんが、エネルギー・発電装置、精密機器、半導体製造装置、医療、航空、宇宙など、高い品質が求められる成長産業で使用されています。DMG MORIは、高精度な工作機械の機能を最大限に引き出し、稼働率を上げるためのソリューションを提案します。

航空



5軸加工機
**DMU 65 FDS
monoBLOCK**

タービンディスク



工程集約
台数をグラインディングセンタ含む3台から1台に、
段取りを6回から2回に集約
一度の段取りでミーリング、ターニング、研削工程が完結
表面精度Ra< 0.8 μm






インコネル※1

自動化：PH CELL 500
完全な自動化を支えるため
最大32パレット搭載可能


※1 インコネルは Huntington Alloys Corporation の登録商標です。

メディカル





複合加工機
NTX 500

関節用プレート



工程集約
台数を2台から1台に、段取りを4回から1回に集約
一度の段取りでターニング、ミーリング、機内計測工程が完結






チタン

自動化：IMTR
機械一体型ワークハンドリング・システム
(搬送可能重量7kg)
無人シフトの生産性を向上

半導体製造装置



5軸加工機
**DMU 65 H
monoBLOCK**

EUV露光装置部品



工程集約
台数を2台から1台に、
段取りを6回(以上)から2回に集約
5軸加工と機内計測で高精度加工(平面度0.003mm等)
を実現





アルミ

自動化：PH CELL TWIN
マシニングセンタ2台を連結、
最大30パレット搭載可能
機械稼働率を向上

宇宙



アディティブ・マニファクチャリング

LASERTEC 3000 *DED hybrid*

複数素材部品の積層により高い熱性能を実現

複数素材：
インコネル[®]1、
ステンレススチール



ロケットノズル

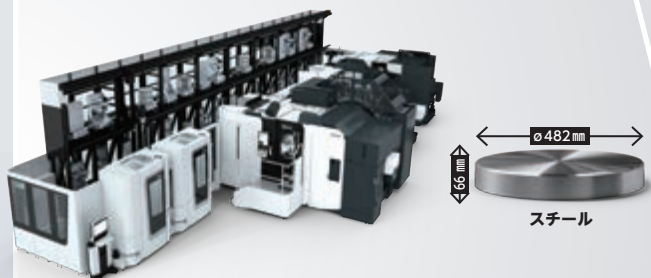
工程集約

台数をグライディングセンタ含む3台から1台に、
段取りを6回から2回に集約
一度の段取りでミーリング、ターニング、研削工程が完結
表面精度 Ra < 0.8 μm



※1 インコネルは Huntington Alloys Corporation の登録商標です。

エネルギー



5軸加工機

INH 63

自動化：LPP

最大99パレット搭載可能
マシニングセンタを最大8台連結すること
で効率的な量産体制を構築

風力発電部品 (スパイラルベベルギヤ)

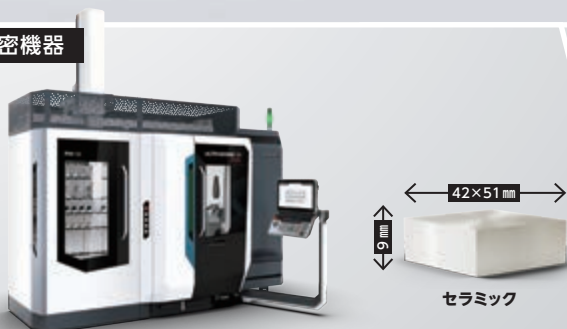


工程集約

台数をグライディングセンタ含む2台から1台に集約
一度の段取りで5軸加工、ギヤ加工、機内計測工程
が完結
ギヤ精度 DIN5 を実現



精密機器



ULTRASONIC

ULTRASONIC 20 *linear*

自動化：PH10

機械一体型パレットハンドリング・
システム
(6 mlに最大132パレット搭載可能)

時計ケース



工程集約

1台で硬脆材 (セラミック) を加工、段取り2工程

5軸超音波加工：表面精度 Ra 0.15 μm
研磨工程を削減することでマイクロクラックの発生を
抑制

